

北の子

浜岡北小学校だより 令和2年度9月号

＜学校教育目標＞

「たくましさ」と「思いやり」で未来をつくる子

＜重点目標＞

進んで関わり 認め合う子

様々な視点から総合的に判断

学校評価への御協力をありがとうございました。職員の日頃の努力に対する温かな言葉は、励みとなりました。また、要望・意見については、見直し・改善の参考になりました。今回の評価では、新型コロナウイルスや熱中症対応に関する感想・意見が多くありました。長期的な臨時休業や活動の制限があり予測も困難な状況下での教育計画などの変更については、様々な視点（法令、教育的価値、学力、健康、気象、子ども・保護者の思い…）から総合的に判断する必要があります。本校で判断したことについて、二つの行事の例をあげてみます。

◆運動会

「中止」と判断（4月22日配布通知）

○主な理由…新型コロナウイルス感染症拡大の長期化が予想されるため

- ・臨時休業期間が4月11日～5月6日に。（最終的に5月24日まで延長）その結果、国が決めた標準授業時数を下回り、学習内容の履修が厳しくなる。さらに再度臨時休業が行われる可能性も十分考えられる。

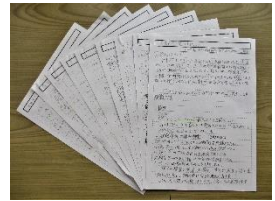
「標準授業時数を大きく下回ること」「6年の年度内の未履修」は認められない。【法令、学力】

⇨ 変更

「延期・縮小」に変更（8月27日配布通知）

○主な理由…夏休みの期間短縮（35日間→12日間）、子どもの熱意

- ・夏休みが短縮され、ある程度の授業時数が確保されることになった。（それでも4～6年は標準授業時数を下回っている。）【法令、学力】
- ・授業時数や練習・本番での暑さを考慮し、2時間程度なら可能であると判断した。【法令、学力、健康】
- ・6年生が子ども主体の運動会の開催を熱望し、自分たちの力で15ページにわたる緻密な企画書を作成した。【子どもの思い、教育的価値…主体性、リーダーシップ】



6年作成の企画書

◆修学旅行

8月22日に目的地を「静岡県東部・伊豆地方+山梨県エリア」に決定

○主な理由…延期や中止のリスクを下げるため

- ・6年生は「愛知県」が、保護者は「子どもの思いを尊重」が多かった。しかし、愛知県は新型コロナウイルス感染者が多く、静岡県から8月22日現在「愛知県への移動については回避してください。」と発表されている。今後も状況が改善されない可能性が十分ある。【県の判断、様々なリスク】

これらの判断が適切であったかどうかは、人によって受け止め方が違うでしょう。また、結果に左右されることもあるかもしれません。しかし、できるだけ多くの方に納得していただけるよう、幅広く情報収集に努めて総合的に判断し見通しをもった計画を立てるとともに、状況に応じて柔軟に対応していきたいと考えています。

子どもたちにも身に付けさせたい判断力と行動力

新型コロナウイルスや多発する大規模自然災害の脅威から身を守ったり、劇的な社会の変化（AIの進化、多様性など）に適応したりするため、一部のリーダーだけでなく全ての人に判断力が求められる時代になりました。そして、今の子どもたちが大人になる頃には、その必要性がさらに高まっているはずです。ですから、「何をすることがよりよい結果につながるのか、自分や周りの人のためになるのか」ということを考えるような習慣を身につけさせ、さらに行動に移せるように学校でも家庭でも支援していくとよいのではないのでしょうか。そのためには、子どもに任せる機会を多くし、成功体験を積み、自信をつけさせることが大切だと思います。学校教育目標と結びつけると、そうして身に付けた「たくましさ」が明るい「未来をつくる」ことにもつながります。



（校長 北原 弘明）

